

日本ウマ科学会 2020 年度 第 3 回常任理事会議事録

日 時 : 2020 年 7 月 31 日(金)13:30~15:10

場 所 : JRA 新橋分館 5 階 第一会議室

出席者 : 青木 会長
田谷 副会長
和田 副会長
高橋 庶務担当常任理事
楠瀬 編集担当常任理事
近藤 学術担当常任理事
桑原 国際担当常任理事
和田 広報担当常任理事
佐々木 臨床担当常任理事(オンライン)
小野 事務局長

欠席者 : 半澤 会計担当常任理事

- 議題 : 1. 各賞選考委員会
- ①学会賞および奨励賞選考委員会
 - ②功労賞選考委員会
2. 報告および審議事項
- ①論文チェックシステムの導入
 - ②第 33 回学術集会について
 - ③その他

◎議事内容

議題1. 各賞選考委員会

- 楠瀬編集担当理事より、池田収氏の学会賞推薦が報告された。奨励賞については推薦がなされておらず、該当者なし。
- 続いて功労賞については、こちらも該当者なし。
- 早急にメールでの選考委員会、臨時理事会を開催した上で、上記 3 賞の受賞者を正式決定し、本年の学術集会における受賞講演の準備を進める予定。

議題2. ① 論文チェックシステムの導入

- 田谷副会長より、二重投稿(盗用)された論文があったことの報告。
- 論文チェックシステムの導入経緯とその導入後のシステム稼働状況の報告。
- 和田副会長より、著者に対して投稿を二度と受け付けないことを宣告したかの確認。田谷副会長より、そこまではしていないが、投稿されても査読前に却下する方針。
- 桑原常任理事より、投稿規程に二重投稿の禁止を明文化し、二重投稿が発覚した場合、投稿者またはその所属する研究機関への厳重な処分を行うことを明示しておくべきとの意見。
- 投稿規程については編集担当常任理事が対応を検討。

議題2. ② 第33回学術集会について

(開催の可否)

- 近藤学術担当常任理事より、まず JRA の調査研究発表会が別日程でかつ入場制限して実施される旨の説明があり、これを受けて、当学会の学術集会の開催形式について、通常開催か、規模を縮小しての開催か、あるいは Web 開催とするかが問われた。
- 青木会長より、感染者が増大しているなかで通常開催は難しいと考えるという意見。事務局より 2020 年下期の畜産系学会等の開催状況を説明。学術担当常任理事から通常開催は難しいと考えるとの発言を受け、会長より通常開催の中止を提案。全員が賛同。そこで、通常開催に代わる学術集会の開催方法について協議した。

(WEB 開催)

- 事務局より一般的なオンライン学会の説明。佐々木臨床担当常任理事より山口大学で今年の秋に開催が予定されている日本獣医学会におけるオンライン開催の概要と応募状況について、演題数は例年に比べて少し減少した程度であったとの説明。演題数が集まったのは、研究者にとって学会が業績発表の場として重要視されていることの証との補足説明。
- 田谷副会長より、WEB 開催を行う上で獣医学会での質疑応答の方法が問われ、佐々木常任理事よりコメント欄で実施する予定との回答。Zoom などの他のリアルタイムでの開催は、うまく質問のやり取りができていないことが散見されるとのこと。高橋庶務担当常任理事より、獣医学会と同じような形式であればウマ科学会でも対応は可能と説明。
- 和田広報担当常任理事より、学会の規模で中止とオンライン開催が分かれているのではないかと質問。事務局より規模で中止が決まっているとは言えないと回答。
- 青木会長より、今年は当学会の学術集会も、WEB 開催の方向で進めてもらってはどうかとの提案に一同賛同。

(学術集会のイベント)

- 近藤学術担当常任理事より渡航制限の問題から臨床委員会企画の外国人招聘事業等の中止の提案。佐々木臨床担当常任理事より、来年に持ち越すかは持ち帰って臨床委員会で検討。第2回認定獣医師資格試験は中止として、その旨を HP に公表の対応。
- 近藤学術担当常任理事より、優秀賞を募集するか否かの提案。青木会長より、優秀賞講演

を含めた一般演題の形式等、具体的な実施方法については、学術担当常任理事および事務局で検討するように提案があり、了承。

- 近藤学術担当常任理事より、シンポジウムについては南保氏提案のシンポジウムを WEB で行う方向で調整中。
- 学会賞については、決定後に WEB での受賞講演か、来年口頭での受賞講演のいずれかでを行うよう検討するとの説明。
- 昨年の奨励賞受賞者の黒田泰輔会員の受賞講演は第 34 回学術集会で実施。
- 事務局より開催変更にかかわる経費の説明。その結果、WEB 開催の今年は参加費を徴収しないこととで了承された。ただし、学会員の年会費納入を促進するため、WEB の学会サイトの閲覧は、WEB 学会開催までに当該年度の学会年会費を納入した者に限って、閲覧のための ID と PW を配布することとする。また、印刷した講演要旨集を希望する者には有料にて配布する案が事務局より提案されたが、協議の結果、今年は例年通り、講演要旨集を無償にて事前配送することになった。なお、今後も WEB 開催が続くようであれば、希望者への講演要旨集の有料化を検討する。また、和田副会長より、WEB 上の講演要旨集が十分に活用されるのであれば印刷物としての講演要旨集は廃止を検討すればよいとの提案があった。

議題2. ③ その他

(コンビニ払込票の導入)

- 事務局より、例年のような学術集會会場での高額の金銭管理の危険性の回避と受付での混雑および事務処理の簡素化を図るため、次年度以降は学会年会費の振込での納入を促進することとし、従来の郵便振替に加え、コンビニ収納方式を導入することが提案された。コンビニ収納には学会側にも多少の手数料が掛かるが、土日や休日を含めて 24 時間の振込が可能となるなど、学会員側の便宜が向上するなどのメリットが補足説明され、了承された。

(業務委託基本契約書の導入)

- 事務局より、個人情報保護、秘密保持、コンプライアンスの順守の観点から、学会と委託業者との間で業務委託に関する基本契約書の締結が提案され、その対応を事務局に一任することとで了承された。

以上